

# 前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第85号

H28. 12. 22

## 節目を大切にすること・感謝を表すこと

～ 今年を振り返って来年の目標を決めよう  
家族の一員として、家族の役に立つ冬休みにしよう ～

本日の「まとめの会」では、1年生の鈴木君、2年生の前田さんが今年の振り返りと来年の抱負を、3年生の菅田君が受験に向けての決意を立派に発表してくれました。

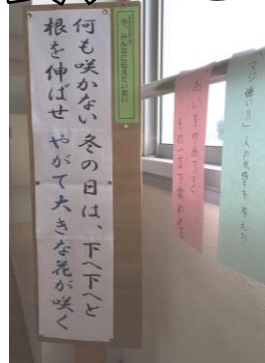
3年生にとっては最後の追い上げの時期です。右の「校長先生の掲示板『今、みんなに伝えたい思い』』・・・昨年もお話しましたが、まずは、春に大輪の花を咲かせられるよう、この冬休みに惜しみない努力をすることを、家庭や学校で支援していきたいと思います。

さて、新年を迎えるにあたり、この節目を大切にしてほしいと思います。竹は節目があるから成長するといわれます。単に上に伸びたのでは、自分自身を支え切れなくなってしまいます。自分を支えるために「節目」があるのです。雪が積もった日は、体を「くの字」に曲げて雪の重みや強い風に耐え抜き、簡単に折れることはありません。「節目」があるからです。生活の中にはいろいろな節目がありますが、この新年を迎える節目には、「目標をしっかりと立てること」が必要です。3年生は受験に立ち向かう最終の決意を、2年生は4月から、いよいよ前芝学校の最高学年、中学3年生となります。その自覚を基に目標を立ててほしいものです。1年生は前芝学校の7年生として、入学時から確実に一回り成長しました。来年はその姿をお手本としてどう新入生に見せるのか、中学1年生の経験をもとに、学習や生活、部活動で充実した2年生を過ごすための誓いを立ててほしいと考えます。

また、冬休みは、日本に受け継がれてきている伝統行事においても、家族への恩返しができる機会が多くあります。大掃除、お正月の準備等々。日ごろ

の感謝の気持ちを、前芝中生徒が言葉や行動で示す姿を楽しみにしています。

冬休みも生徒たちには、常に『前芝中学校の一員』としての自覚のある行動を期待し、命を大切に、また健康で健全に過ごしてほしいと願います。



【校舎2階廊下に】



【用務員加藤業務長さん作の門松で新年を迎える準備】



### 【12月10日(土)】防災フェア

座談会への出席依頼を受け、校区と保小中が協力して実践している3年間の前芝校区・保小中合同防災訓練について発表しました。ご多用の中、会に参加してくださった自治会・ボランティアコーディネーター・防災リーダー・PTAの皆さま、保小中の先生方、皆様の応援に心より感謝いたします。



【廣田校務主任の撮影による】